

防衛庁・自衛隊 50周年

岩見沢駐屯地創立51周年

第12施設群創隊29周年

記念行事開催

いわみざわ

岩見沢駐屯地

五十一周年記念を迎えて



発行所 隊友会岩見沢支部
岩見沢市西川町510-25
編集 陸上自衛隊
岩見沢駐屯地
印刷 北海道立福社社
空知郡室沢町館上350
TEL(0126)45-2721



今年も、素晴らしい秋晴れのもと、部内外より多数のご来賓のご臨席を賜り、多くの地域の皆様、そして隊員ご家族の見守るなか、岩見沢駐屯地創立五十一周年、第十二施設群創隊二十九周年の記念式典を挙行できました。今年、二月より八月までの間、北部方面隊が担任しましたイラク人道復興支援活動に岩見沢駐屯地から二十六名の隊員が参加



しておりましたが九月五日までに全員が元気に帰国しました。この成果は、派遣隊員はもとより、予備要員として緊張を保持しつつ待機していた隊員、駐屯地で派遣隊員の方まで頑張つて勤務した隊員、そして、留守を守られたご家族と、全員の力で成し遂げたものであり、心より嬉しく思っております。また、この間皆様から頂きま

した、温かいご支援・ご声援に、改めて御礼申し上げます。駐屯地は、昭和二十八年二月に、日の出台上に開設されて以来、五十一年の永きにわたり多くの方々に支援され、地域の皆様に見守られながら今日を迎えることができました。この間、地域の防衛はもとより、水害や雪害などから多くの人々の生命財産を守つた四十四回に及ぶ災害派遣、地域の発展に僅かながらも貢献できた二百三十九件の部外工事、夏冬の祭り支援をはじめとする各種の部外行事支援などを通じて地域に貢献するとともに、カンボディア、ルワンダ、ゴラン高原、そして東ティモールと四度の国連平和維持活動、さらには、今回のイラク人道復興支援活動に延べ二百五十四名の隊員を派遣するなど、世界平和にも多大なる貢献して参りました。

また、開設当初は熊笹が生い茂り、雨になれば膝まで沈み込むという重粘土がわき出しであった駐屯地も、今では緑に包まれた全国でも有数の素晴らしい環境に恵まれた駐屯地へと整備されて参りましたが、これも、全隊員の努力はもとより、それぞれの時代をしっかりと支えてこられた諸先輩の熱き思いや幾多の試練に立ち向かわれた勇氣と苦

勞の賜であり、それを支えたご家族のご尽力、そして地元自治体をはじめとする関係機関、協力諸団体、並びに地域の皆様の温かいご支援ご協力があったからこそでありました。駐屯地隊員一同、心より御礼申し上げます。さて、我が国を取り巻く情勢は、領土問題や統一問題、そして頻発するテロなど依然として不安定な状態にあり、我が国の安全保障上、予断を許さない状況にあります。

我々はこのことを深く認識し、實力を養い、常に、物心両面における即応の態勢を維持して、何時如何なる事態においても、特有の高い施設技術力を発揮して速やかに対応し、確実にその任務を果たし、地域の方々から真に信頼される岩見沢駐屯地となるべく精進して参りますので、今後とも岩見沢駐屯地、駐屯部隊に對しまして、変わらぬご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、その脅威もますます多様化し、複雑化しております。このような情勢下におきまして、我々、自衛隊に対する期待も「存在する自衛隊から、機能する自衛隊へ」と変化をし、まさに、「行動して評価される時代」となりました。我々には、これまで以上に困難な任務を的確に遂行することが求められております。

我々はこのことを深く認識し、實力を養い、常に、物心両面における即応の態勢を維持して、何時如何なる事態においても、特有の高い施設技術力を発揮して速やかに対応し、確実にその任務を果たし、地域の方々から真に信頼される岩見沢駐屯地となるべく精進して参りますので、今後とも岩見沢駐屯地、駐屯部隊に對しまして、変わらぬご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

歴史と伝統の継承

岩見沢駐屯地業務隊

二等陸佐 佐藤 貞夫

岩見沢駐屯地も開設以来半世紀の時を刻み、多くの先輩方々の「血と汗と涙」で築いてこられた歴史と伝統の上に立っています。特に、駐屯地誕生間もない日の出台当時の写真を拝見すると、隊舎以外に大きな建物もなく、あちこちにぬかるみがあり殺伐としています。

先輩たちは、十分な資材や道具もない中で、すべて手作りで訓練環境や生活環境を整えてこられました。ある時は創意工夫した訓練資材を作り、ある時は物品を収納するための棚を作り、そして木を植え、石を運び、池を掘り、自らドーザを操ってグラウンドや野球場を整備したのです。これらの事業は、少しずつ先輩から後輩へと申し送られ、駐屯地が作り上げられました。

今ここに在る私達は、五十年後の後輩達のために、先輩達が苦勞して作った駐屯地を少しでもよくして申し送る義務が有ります。ここに岩見沢駐屯地が多くの隊員にとってかけがいのない「心のふるさと」で在り続ける為にも、自らの手と心でどここの駐屯地にも負けない美しい駐屯地作りを今日から始めましょう。

鈴木団長、第十二施設群を視察される

九月九日、十日、第三施設団長の鈴木義長陸将補が岩見沢駐屯地を来訪され、第十二施設群の初度視察を行った。

鈴木陸将補は十八年前、第三施設団で訓練班長をされていた頃に何度か、ここ岩見沢駐屯地を訪れた事があるそうで、視察の間、若かりし頃を思い出されたのであろうか、懐かしむ表情を浮かべられる場面もあった。

去る八月三十日に新第三施設団長として着任され、十六年ぶりに再び訪れた岩見沢駐屯地は、かつての頃よりも岩見沢という土地になじんでいるように見えるとおっしゃった。

鈴木陸将補のご出身は茨城県笠間市。

イラク人道復興支援

お疲れ様でした

第二次イラク人道復興支援活動派遣隊員として今年二月から八月まで岩見沢駐屯地から参加していた隊員が無事にクウェートとイラクのサマールワから帰国した。

帰国は四派にわかれ、八月二日、二十二日、二十八日、九月五日とそれぞれ帰国し、岩見沢駐屯地においては、その当日、留守家族・駐屯地全隊員が拍手で出迎えた。

好きなスポーツはバレーボールとサッカー。最近ではゴルフもなさるそうだ。群長の淵之上一佐とは、小隊長時代に富士の演習場で第一小隊長、第二小隊長として共に訓練を乗り越えてこられた思い出を持っておられる。初度視察の記念にIKBC放送局へご出演いただき、また、駐屯地陶芸場では記念の皿に筆入れされ、笑顔で駐屯地を後にされた。(岩見沢駐屯地広報班)



陶芸皿に記念の一筆を
笑顔で描かれる鈴木団長

【第三三六施設中隊】

- 二等陸曹 山田 和人
- 二等陸曹 川上 泰史
- 三等陸曹 菅原 寿男

【第三三七施設中隊】

- 二等陸尉 増子邦史郎
- 二等陸曹 渡邊 敏
- 二等陸曹 濱砂 勉
- 三等陸曹 三浦 隆

【第三一二施設器材中隊】

- 陸曹長 佐々木哲弥
- 二等陸曹 長田 聡
- 二等陸曹 角田 誠
- 三等陸曹 大内 真治

【第三〇二坑道中隊】

- 二等陸曹 石崎 豊
- 二等陸曹 河原 康史
- 三等陸曹 桜庭 王一
- 三等陸曹 舟生 裕人

【第一〇一直接支援大隊】

- 一等陸曹 渡邊 和夫
- 二等陸曹 斉藤 護
- 三等陸曹 鳴海 修
- 三等陸曹 鈴木 勇人
- 三等陸曹 坂梨 仁

【第三二七会計隊】

- 陸曹長 宮本 元
- 三等陸尉 後藤 健一

【第一〇一地区警務隊岩見沢連絡班】

- 三等陸尉 後藤 健一

帰国は四派にわかれ、八月二日、二十二日、二十八日、九月五日とそれぞれ帰国し、岩見沢駐屯地においては、その当日、留守家族・駐屯地全隊員が拍手で出迎えた。



9月5日 増子2尉率いる以下7名無事帰還！隊員と家族に迎えられる。



無事帰隊を喜ぶ派遣隊員とその家族



8月28日 16名の派遣隊員満面の笑顔で任務遂行無事帰隊！

「札幌地方隊友会支部対抗パークゴルフ大会」の部第四位の成績」

平成十六年八月二十九日(日) サッポロビール園恵庭パークゴルフ場にて「札幌地方隊友会支部対抗パークゴルフ大会」が開催され、岩見沢支部から選抜された小川氏、穂積氏、細川氏、小田氏、長崎氏の五名が参加し、団体の部で第四位の好成績を収めました。

また個人の部では小田氏が第二位の輝かしい成績を収めて「岩見沢支部」の強固な団結と実力の高さを札幌地方隊友会に誇示して参りました。

選抜されました選手の皆様大変お疲れ様でした。団体の部・個人の部ともに素晴らしい成績を収められ、おめでとうございます。来年は優勝を目標に更なる努力をご期待しております。



Bコースのスタート 田中氏の第一打



前年度優勝の穂積氏が優勝トロフィー返納

あの人は今
水泳に親しんで



隊友会会員 川東岩男

人間は動物のように、本能的に泳ぐことができず、水泳を習わなくては泳ぐことが不可能と言われている。だから人間がいつの頃から泳ぐと言ったことを覚え、水泳を教えたり、習ったりという事は定かではないが、古い昔の事である事は確かであろう。水泳も古代から現在に至るまで、常に各時代の生活や流れのなかで、社会的な条件の影響をうけており例外なく時代によって生活の手段や、戦闘の手段、

身体鍛錬のためという具合に、泳ぐという目的が時代によって異なってきた。現存する日本泳法は軍事目的のためとして開発したもので、二十世紀後半から体育として取り上げられるようになり、体育としての水泳は、身体鍛錬のため又あらゆる事故の際に溺死から身を守る手段として行われるようになった。日本においては、江戸時代からの庶民の楽しみであり、明治時代になって引き継がれ、明治二十年代には、海水浴として水泳が婦人女子の間で盛んとなり、海・川・湖で行われたが、勤労者階級の参加はほとんどなかった。昭和になり、プールが川に代わる場所となり、昭和二十年代から勤労者の参加も増え、室内プールの増加とともに、水泳は年間を通して行うレクリエーションとなって現在に至っている。水泳の技術が急速に進歩するのは、競技としての水泳が盛んになってからである。

当地岩見沢には昭和四十九年に五十メートルの温水プールが出来て、水泳の健全な普及と発展をはかり、市民の体力の向上とスポーツ精神を養うところとなった。少し時代は遡るが、昭和三十九年の東京オリンピックに於いては、日本の水泳が惨敗を喫して、この状態を見た水泳関係者達は、水泳日本を復興するには、水泳人口の普及と拡大を図る事が第一の結論から、全国的に水泳教室・スイミングクラブ等々の活動がなされて、数多く増えて今日に至っている。

自衛隊員諸兄の中でも温水プールで泳がれた人も数多くあると思いますが、そのような状態から、岩見沢出身の田中雅美選手のような、我が国を代表する選手も育ってきたものである。

私の所属する岩見沢水泳協会においても、平成八年アトランタ大会・平成十二年シドニー大会には「田中雅美さんを応援する会」を作り、実行委員会の一人としてお手伝いをした。

人生八十年と言われる日本は、世界でも有数の長寿国となり、人々は健康に対して、病気をしないで健康で長生きしたいというように変わり、特に水泳は生涯スポーツとして、あらゆる年齢層の人々に適し、利用されている現状は大いに喜ばしく感じている。

水泳に親しみ子供達を指導して三十年、私が指導しているスイミングクラブの子供達も毎日練習に励み、第二の田中雅美さんを目指して、各種の大会に努力している。

これからも、地域社会の要請に対して、今後益々水泳に親しむ人達を育てたいと思います。

あなたと生きていく保険。 **朝日生命** 岩見沢営業所 電話 (0126) 22-0207番

三替グリーンヤード ホテル **ザンプラザ** ご婚礼スーパーセレクトプラン 「Only one」発表! 三替グリーンヤード 遊園地・ホワイトパーク

お二人の旗立ちを、真心のおもてなしでご提供いたします。 **Wedding** IWAMIZAWA HEIANKAKU

『こんな絶対は無理だ』 って事ははない

第三七施設中隊

二等陸曹 長谷 英明

平成十六年八月二十五日から二十九日まで間、第四次群野営に分隊長として参加しました。

七中隊については、天塩地区において対着上陸障害の構成という事で、検証及び訓練を実施し、自分達が考えた障害が砂地で実際に使えるかどうかを検証しました。

私は、三月まで十三施設群の水際障害中隊で勤務していたため天塩の海岸で訓練するのは、初めてではなかったのですが、今回、七中隊が実施したドーザーと地雷敷設機による地雷原の構築は、初めてで他の部隊でも実施したことのない訓練だと思います。

野営に入る前からみんなで意見を出し合い思考錯誤しながら

中隊初のチャレンジ

第三〇二坑道中隊

二等陸曹 田宮 勝利

今年度、訓練の集大成ともいえる群検閲を間近に控え、現任群をあげて準備中であるが我が坑道中隊も同様任務遂行に向け準備をしている。

中隊は島松地区ジェット台において十二メートルの実掘削を行う予定であるが、十二メートルという距離は今まで掘っては来たが今回は十二メートルを連続で掘削、しかも素掘でライナープレート工法によるものである。

ライナープレート工法は中隊検閲等で二回実施しているが、素掘は初である為どの様な危険が潜んでいるか、どの様な問題点があるのか、わからない状況で「もし掘削機が動かなくなったらどうなる？」不安事項は後を絶たない。

しかし中隊は一致団結し全員で試行錯誤、色々と検討している最中である。

群検閲で有終の美を飾るためにも残りわずかな期間ですが準備を万全にしていきたい。

準備をして挑んでみました。

実際に砂地で実施してみているいろいろな問題や有効点も見つけ、何事も実施する前に、『こんな絶対は無理だ』ってことはないと感じさせられました。これからも十月に群の検閲を受けるわけですが、今回経験したことを忘れずに訓練等に取り組んでいきたいと思えます。



派遣群旗返還！

平成十六年九月十二日、真駒内駐屯地において第二次イラク人道復興支援群の隊旗返還式が行われた。

式典は、第二次イラク人道復興支援群の隊員約四百八十名参加し、来賓・隊員家族約五百名が見守る中、長官訓辞、内閣総理大臣からの部隊表彰の後、今浦群長が隊旗を石破長官に返還した。

第二次イラク人道復興支援群は平成十六年五月八日第一波出国以来、約三ヶ月の任務を完了した。我が岩見沢駐屯地においても派遣隊員、全員が無事帰国した。



一棟一心

木造注文住宅

東日本ハウス

http://www.tygas-mihon.co.jp/

東日本ハウス株式会社
札幌支店
〒063-0803 札幌市西区二十四軒3条4丁目1-8
☎(011)642-2131 ㊟ FAX(011)642-2299

心をこめて、これからも

AIG

AIGエジソン生命

お気軽にご相談ください。
AIGエジソン生命保険株式会社
業務隊厚生科内
常駐社員：田村純子(内線338)



千葉電気工事株式会社

代表取締役 千葉嘉男

岩見沢市東山町22番地71
電話(0126)24-4567番



明治安田生命

お客様との
「いつも身近にいる会社」
をモットーに、
私たちはこれからも、
安心をお届けしていきます。

担当営業職員

村山 利江
伊藤 佳代子

明治安田生命 岩見沢営業所
〒068-0024 岩見沢市4条西1
電話：0126-22-1637
FAX：0126-22-7340

素朴で、安く、安心して飲める店です。
お通し、ボリュームあります。
飲み放題・歌い放題で一人様2,000円。
宴会・二次会に！50名様入れます。
幹事さん・・・
ご利用をスタッフ一同心より
お待ちしております。

スナック

夏花

岩見沢市3条西1丁目 長谷川町子

中隊検閲に参加して

第十二施設群第三三五施設中隊

陸士長 佐藤 啓寿

私は今年の三月に岩見沢駐屯地、第三三五施設中隊に転属してきて一番のイベントがきました。それは中隊検閲です！今までと違う経験ができるという期待と初めてのことをする不安がありました。不安になる理由は自分自身が小隊から二年以上離れていたことが一番大きかったです。三三五施設中隊に来る前まで三四二施設中隊(当時は名寄駐屯地在)の補給事務所の中で毎日電話で怒鳴られパソコンとにらめっこしていました。おかげで相手の機嫌をとること

とタイピングの早打ちは出来ようにはなったのですが自分のペースで仕事をしていたので周りの人達に合わせて仕事をする事になかなか慣れることが出来ず少々疲れていました。そんな状況の中、中隊検閲を迎えてしまいました。ただでさえ慣れていない中隊・仕事・環境・検閲前の足の怪我での入院等不安な事ばかりでした。怪我の事もありません。中隊長ドライバーという事で体力的な不安は多少解消されました。初めての体験の事ばかりで大変勉強になる事が多々あり、



中隊長Drの筆者

通信機の使用法は特にそうです。自分で直接触って学べて大変勉強になりました。しかし、残念な事もあり、やはり小隊の一員として行動できなかった事です。新たな経験を出来なかつたのは大変残念でした。九月に最後の陸曹候補生の一次試験、十月に二次試験がありますがその試験に合格して次の検閲には三等陸曹として検閲に参加して新たな経験を少しでも一人前の自衛官に近づきたいとより一層思っていました。

「親知らず」の話

業務隊衛生科医官

三佐 門脇 美佳

第三大白歯は通称、「親知らず」と呼ばれています。他の永久歯は十四才くらいまでに萌出完了しますが、親知らずはその後しばらく期間をおいてから萌出してきます(個人差も多く萌出しない場合もあります)。親を離れてから、親が知らないうちに生えてくる歯という意味から由来します。

親知らずの萌出にはバリエーションが多くあり、①欠損、②完全埋伏、③半埋伏、④転移な

ど位置異常がある場合など様々です。正常に萌出しているケースは最近少なくなってきました。なぜでしょうか。ヒトの歯の進化の傾向は減少傾向にあり、同一種類の歯群では後方の歯が欠損する確率が高くなります。また、歯の大きさも顎の大きさも縮小傾向にあります。これらの調和がとれていないために、親知らずが萌出するスペースが不足して、埋伏や半埋伏や転移などが起こりやすくなっているの

です。正常に萌出している場合でも、位置異常がある場合でも、歯磨きがうまく行えないでいると、トラブルを起こしてきます。智歯周囲炎は親知らずの歯周囲組織に炎症を起こした状態で軽症では抗生剤を数日間内服すれば症状を抑えることが出来ます。重症になると、点滴が必要になることもあります。入院する場合もあります。自分の親知らずが、どんな状態かを知りたい方は、医務室でX線写真をとることをお勧めします。

不安と緊張を感じつつ！

第三三六施設中隊

一等陸士 清水 健二

初めまして第三三六施設中隊の清水一士です。中隊に配属されてまだ一年、何も分からないまま始まった中隊検閲、不安と緊張を感じつつもその反面、どんなことをするのだろうかという好奇心もありました。が、それもつかの間、状況開始と同時に分散、それから常に緊張しっぱなしでした。そして何よりも不眠不休というのが自分にとって一番過酷でした。でもこういう訓練があつてこそ不屈の精神を養い、部隊の精強度を向上、維持しているのだなと思えました。また今回の検閲を通じ自分の非力さを感じこれから少しずつではあります、あらゆる面を鍛え中隊及び施設科としての行動を日々学び、考えながら訓練に励みたいと思います。更にはこういう訓練の中で、得たことを現時点の目標である陸曹候補生合格のための試験勉強に生かしていきたいと思えます。また受験資格はありませんが、精一杯頑張りますのでご指導御鞭撻よろしくお願ひします。



336中隊 清水 1士

自衛隊退職者雇用協議会 岩見沢支部

事務局：岩見沢商工会議所内
支部長：五十嵐 啓
TEL：0126-22-3445

Gibraltar ジブラルタ生命

私たちはブルデンシャル・グループの一員です。
ブルデンシャルは、126年の歴史を持つ米国籍大株の金融機関であり、世界の顧客に幅広い金融商品・サービスを提供しております。
ジブラルタ生命保険株式会社
札幌南支社 岩見沢支部
〒058-0024 岩見沢市4条西4丁目 グレイスビル4F
TEL: (0126) 22-4875 FAX: (0126) 22-5734



人事往来

転出

【本部管理中隊】

准尉 米澤 寮一 団本付隊
一曹 奥田 浩一 一〇五器

【第三三五施設中隊】

二曹 清水 愛正 六施群
二曹 折田 裕昭 札幌地連

【第三三六施設中隊】

一曹 阿部 康宏 札幌地連
(石見沢)
二曹 樋口 信治 施設学校

【第三〇二坑道中隊】

二尉 青木 民夫 北部後支
二曹 古里 憲一 九施大

【本部管理中隊】

准尉 開藤・重則 団本付隊

【第三三五施設中隊】

曹長 山口 和人 七施大
二曹 村上 義隆 一〇五器

【第三三六施設中隊】

二曹 高橋 克彦 十三施群

【第二直接支援中隊】

准尉 松田 務 直支整中
(南恵庭)
二曹 藪崎 高広 直支整中
(南恵庭)

【第三四基地通信中隊派遣隊】

二曹 浜中 大因 美幌基通

【情報保全隊】

三尉 難波 健 真駒情保

【業務隊】

三佐 丸岡 敏人 北部後支
一尉 下園 修良 八施大

【第三三七施設中隊】

二曹 大西 賢生 二施大

【情報保全隊】

一尉 土見 文昭 真駒情保

【業務隊】

三佐 鶴窪 研次 北部後支
一尉 石崎 靖 第十一飛
二尉 山本 保 第十一特

退官おめでとう御座います!!

第二の人生のご多幸を御祈念申し上げます。



【群本部】

二等陸佐

池田 哲夫

就職先

弘済企業株式会社



【本部管理中隊】

陸曹長

菅野 光男

就職先

富士工業株式会社



【第三三六施設中隊】

陸曹長

前田 忠義

就職先

空知環境総合(株)

こんにちは赤ちゃん



【本部管理中隊】

三曹 青山 幹雄

長男 貴雄君
八月十四日生



【第三三五施設中隊】

三曹 高山 英樹

三男 翔太君
八月六日生



【第三〇二坑道中隊】

士長 片岡 大輔

三男 梨ちゃん
八月十一日生



【第三〇二坑道中隊】

三曹 岡本 充広

三男 優翔君
八月十日生

結婚おめでとう



【第三三五施設中隊】

二尉 山本 亮

三男 美耶子
九月十五日



【第三四二施設中隊】

三曹 佐々木 敬貴

三男 昌美
七月二十五日



【第三四二施設中隊】

三曹 鈴木 和実

三男 弥生
七月二十五日



【第三〇二坑道中隊】

三曹 伊藤 尚安

三男 めぐみ
七月二十八日



【第二直接支援中隊】

三曹 家常 崇

三男 多佳子
七月三十日



【業務隊】

行(一) 3

三男 美佳
七月七日